

大崎市図書館開館 5 周年・宮城県誕生 150 周年記念事業
「古内一絵氏講演会『「星影さやかに」によせて』」開催要項

教育部 図書館

【目 的】

昨年6月に発行された古内一絵さんの著書『星影さやかに』は、太平洋戦争の戦中から戦後の宮城県大崎市古川を舞台とした家族の物語で、当時の古川や鳴子、加美など周辺地域の風景や人びとの暮らしも丁寧に描かれている。著者自身は東京の生まれであるが、著者の父が古川出身で、本作には父や祖父への思いが込められているという。図書館開館5周年また県誕生150周年を記念して、古内さんに自身のルーツである古川を舞台とした本作への思いなどをお話いただき、大崎市のこれからのまちづくりに活かすとともに、家族や地域への思いを改めて見つめる機会とする。

【講演会名】

「古内一絵氏講演会 ～『星影さやかに』によせて～」

【日 時】

令和4年11月6日（日）

開 演 13：30（13：00 開場 14：30 終演予定）

※講演終了後、著書販売、サイン会を開催予定

【会 場】

大崎市図書館 多目的ホール

※会場はシャッターを閉鎖せずに、来館者が誰でも講演会の様子を見ることができようにする。

【対 象】

一般

【参加費】

無料（定員 80 名）※事前申込が必要

【申込方法】

郵便往復はがきの「往信用裏面」に「記念講演会参加希望」と参加希望者の氏名（往復はがき 1 枚につき 2 名まで受付）及び代表者の住所・電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・名前を記載して申し込み。（10 月 20 日必着）

※応募多数の場合は抽選のうえ、当選者には入場整理券を、落選者には落選通知を発送する（往復はがきの返信用にて）。